

平成30年度

丹波篠山黒豆情報

台風対策臨時号 平成30年8月22日 篠山市・JA丹波ささやま・丹波農業改良普及センター

8月23日(木)の夜から24日(金)明け方にかけて、台風20号の接近にともなう風雨により、ほ場の冠水や黒大豆株の倒伏、茎葉の傷みなどが発生する恐れがあります。

台風の今後の進路に留意し、以下の点について対策を行ってください。

なお、人命第一の観点から、ほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまるまでは行わないでください。

【台風通過前のほ場管理】

- ① 大雨による滞水を速やかに排水できるよう、排水溝や排水路への落とし口を点検し、水の流れを妨げるような溝の崩れ等があれば溝さらえをしておきます。
- ② 倒伏防止のための支柱やマイカー線等の点検を行いましょう。

【台風通過後の栽培管理】

- ① 停滞水がある場合は、谷をさらえ、排水溝等の整備を行い、早急にほ場の排水を図ります。(立枯性病害等の発生防止)
- ② 枝折れした傷口や、株の倒伏で泥のついたところから、

病原菌が侵入しやすくなります。

風雨で茎葉がもまれた場合は、殺菌剤の散布を行い、斑点細菌病、紫斑病などの病気の予防に努めましょう。

(防除薬剤) Zボルドー (水和剤) 500倍

- ③ 不用意にほ場に入ると枝折れを助長するため注意が必要です。
- ④ 倒伏した株は、無理に起こさないでください。
- ⑤ しおれた株や枯死株は抜き取りを行い、ほ場外へ持ち出し処分しましょう。